

8・9月 院内研修を開催しました

8月は、災害研修を2回に分けて開催しました。

第1回目は、トリアージ（START法）について

第2回目は、トリアージ（PAT法）について行いました。



トリアージとは???

災害時など、一度に多くのケガ人や病人が発生した際に、治療の優先順位を決めるために行われる行為の事です。

優先順位をどのように決めるのか。それはケガ人、病人の状態における緊急度、重症度を以って判断されます。日頃、病院の待合室などに「急患がいる際には、診察の順番が変わる場合があります」といった注意書きを目にしたことはないでしょうか？トリアージという言葉は、書かれていないものの、私たちは、日常的にトリアージの下に置かれています。

～START法～

一次トリアージで、「単純なトリアージと迅速な治療」を意味します。災害時で、多くの傷病者がいる場面のため、とにかく素早く行えるのが特徴です。フローチャートに従って、赤・黄・黒に区分していきます。



～PAT法～

PAT法は二次トリアージと言います。PAT法は、第1段階で意識や呼吸などの生理学的評価を行い、第2段階で外傷や症状に関する解剖学的評価を行います。

～参加者からの感想～

- ・実践することで分かりやすかった。
- ・PAT法は医師の診断に委ねられるが、看護師も同じように生理学的評価、解剖学的評価を知識として覚えて、有事の時は活用できるようにしておくことが大切だと感じた。
- ・トリアージにも一次、二次があることを知った。普段の治療とは違う災害時という事で、トリアージに集中する事が重要なのだと学んだ。
- ・繰り返し、もっともっとトレーニングをしていく必要があると思う。

皆さん、災害研修の必要性を充分に感じていました。今後も継続して研修や訓練を行い、災害に強い病院を目指していきたいと思います。

9月は感染対策についての研修を行いました
テーマは ”手指衛生をしないことによる菌の伝播について” です

感染対策委員より代表として、病棟看護師が講義を行いました。

「感染源」「宿主」「感染経路」この3つの要因が重なると感染症を発症してしまいます。

WHOの手指衛生ガイドラインより・・・

「病原体の伝搬には、医療従事者の手指が大きな役割を果たしているので、手指衛生は重要な感染対策である」と言われています。

日常の衛生対策として、手指衛生を心掛けることで、自分自身と患者さんを病原微生物から守り、また感染症の拡大を防止する事にもつながります。



～感染対策委員より～

医療従事者として、適切な5つのタイミングを理解し、アルコール使用量のUPに努めましょう。

手指衛生を『知っている』ではなく『している』へ、スキルアップしましょう。

あなたの手指衛生が、患者さんの命を救います。